

評価結果公表票

作成日 平成22年3月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0272700964
法人名	医療法人南六会
事業所名	グループホームさいうん
所在地	青森県八戸市南郷区大字島守字阿庄内15番地6 (電話)0178-82-3722
評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会
所在地	青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ2階
訪問調査日	平成21年11月11日

【情報提供票より】(平成21年10月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成15年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 14人, 非常勤 1人, 常勤換算	14.7人

(2)建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	2階建ての	2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,995~29,977 円	その他の経費(月額)	光熱水費 30,000 円ほか
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4)利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	6 名	要介護2	9 名
要介護3	1 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.3 歳	最低 78 歳	最高 94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	南六クリニック 山本歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設以来からの職員が多く、ほのぼのとしたホームである。  
 理念に「①人格の尊重。②親しみの心を持った対応。③地域にとけこんだ家庭的な生活。④個性を生かした生活。」の4つの柱を掲げ、地域自治会や運営推進会議を通じて地道な関わりを深めており、消防協力隊を結成し、災害時等の協力体制を整えている。  
 法人内に接遇・危機管理・事故防止対策・給食・感染対策の委員会があり、内部研修の機会を持ち、ケアサービスの質の向上を目指している。職員の資格取得を推奨する等の取り組みも行われている。  
 同じ建物の1階が、かかりつけ医となっており、受診や緊急時の対応を迅速に行うことができる。また、季節毎のドライブや買い物等の外出支援のほか、通所介護や短期利用生活介護の導入など、前向きに取り組んでいる。  
 利用者本人や家族等から、これまでの生活ぶりや趣味・特技等を把握し、個性を生かした暮らしの実現を目指し、ゴミ出し等の役割や、読書等の楽しみごとを促している。また、全利用者揃っての相撲観戦や生け花教室などを行い、気晴らしの支援をしている。

【特に改善が求められる点】

虐待を発見した場合の対応方法や報告の流れ等についての取り決めを作成し、全職員が理解することに期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価を基に、改善点は運営推進会議等で話し合い、職員の手薄な時間帯の玄関施設について、家族への説明と同時に同意書を作成するなど、より良いケアサービスの実現に向けて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営規定に自己評価と、定期的な外部評価の実施を明記している。自己評価を作成する際は、全職員で取り組み、職員会議等で話し合い、共有している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域自治会長や民生委員が加わるほか、家族の参加も促している。自己評価や外部評価結果を報告し、改善策について意見を求めたり、ヒヤリハット事例を取り上げるなど、具体的なケア場面の共有を図っている。また、参加できなかった家族や委員には、会議録を配布し、次回の参加へと繋げている。自治会長を通じて地域の消防協力隊12名の登録を得ており、災害時に向けた支援体制が実現した実績もある。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>玄関に意見箱を設置したり、面会や行事の度に家族等から意見や要望を引き出すよう努めている。また、重要事項説明書に内部、外部相談・苦情窓口を明示しているほか、ホーム内にも掲示し、家族等への周知を図り、出された意見や要望を迅速にケアサービスに反映させるよう取り組んでいる。毎月、利用料請求時にお小遣いの出納簿と年3回発行の法人便りを同封し、暮らしぶり等を報告している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、清掃活動等に職員が参加している。また、法人の恒例行事である夏祭りのポスターを掲示したり、回覧することで、参加を働きかけている。地区の図書館を利用したり、文化ホールの催し物に参加するなど、地域資源を活用するほか、個人情報保護に十分配慮しながら、中学生の職場体験の受け入れを行っている。さらに、職員はキャラバンメイトとして認知症の普及活動に積極的に関わっている。</p>

【各領域の取組状況】

領域	取り組み状況
I 理念に基づく運営	<p>職員同士の連携により、4つの基本理念が反映される暮らしの提供を目指しており、ミーティング時に職員がその日の目標を発表し、ケアサービス提供場面に繋げるよう努めている。</p> <p>運営推進会議を通じて地域自治会住民の間に消防協力隊が組織されるなど、地域と密接に関わり合っている。</p> <p>内部研修を実施し、権利擁護や高齢者虐待等への理解と認識を深める取り組みを行っている。グループホーム協会等に所属し、同業者間の情報交換等を実践している。</p>
II 安心と信頼に向けた関係作りと支援	<p>利用者や家族等の事情や意向を把握した上で、少しずつ来所を増やすなど、利用者にあった環境を整え、馴染みながらのサービス開始となるよう工夫している。また、職員は利用者の思いを尊重し、共感する事で信頼を得るよう努めている。</p> <p>職員との信頼関係を土台に、利用者一人ひとりの個性を生かした暮らしの実現を目指し、利用者の得意なことを一緒に興じたり、利用者と職員と一緒に台所に立つなど、学んだり支えあう関係を築いている。</p>
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<p>介護計画の実施期間を明示しており、3ヶ月毎に見直しているほか、利用者や家族等の状況変化に応じて、随時見直している。また、計画書の目標に沿った個人記録を基に、介護計画を評価している。</p> <p>利用者毎に受診歴を把握し、利用者や家族等が希望する医療機関の受診を支援している。また、敷地内の法人診療所にいつでも相談することができる。定期受診時や急変時の相談等にも迅速に対応する体制が整っているほか、定期受診結果等は、面会時やその都度の電話連絡で報告しており、家族との情報の共有を図っている。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<p>接遇委員会や内部研修の中で全職員が利用者の個人情報保護について理解している。職員は、同じテーブルで世間話をしながらの楽しい食事や足浴時のコミュニケーションの時間を大切にしている。</p> <p>食事の支度や片付け・ゴミだし・読書・相撲観戦など、利用者一人ひとりの暮らしの中に、楽しみや役割を取り入れていく。</p> <p>消防署の協力を得て、年2回の避難訓練を行っているほか、法人内の危機管理委員会で作成した災害時対応マニュアルを基に、昼夜を想定した自主訓練を実施している。地域に消防協力隊12名が組織されており、災害発生時に協力が得られるほか、災害時用の飲料水のタンクや1週間分の非常食等を準備している。</p>